

人権ハンドブックの改訂について

◆改訂の趣旨

本ハンドブックは、令和 8 年 3 月に策定した宇治市第 3 次人権教育・啓発推進計画を踏まえ、内容を全面的に見直し、第 3 版として改訂しました。社会情勢や制度改正を反映させるとともに、市職員が日々の業務で活用できる実践的な手引きとして、窓口対応、文書作成、イベント運営、相談対応など、あらゆる行政サービスを人権尊重の視点から点検し、実践につなげることを目的としています。

◆ハンドブックの構成（章立て）

第 1 章 宇治市の人権行政

第 3 次人権教育・啓発推進計画の概要や市の人権行政の基本的な考え方を紹介しています。

第 2 章 さまざまな人権問題と施策の方向

さまざまな人権課題と市の施策の方向性、課題横断的な人権課題を掲載しています。

第 3 章 人権尊重の行政を担うのは私たち一人ひとりの職員です

人権尊重の視点による行政運営や、人権スキル、日常業務での実践のポイントを紹介しています。

第 4 章 人権を侵害する差別事象への対応

差別事象が発生した際の基本姿勢や、具体的な対応方法をまとめています。

第 5 章 人権 Q & A

人権に関する基礎知識や関係法令などを、わかりやすく紹介しています。

◆今回の改訂のポイント

- ・ 第 3 次人権教育・啓発推進計画の内容を反映しました。
- ・ 社会情勢や法制度の改正を踏まえ、内容を全面的に更新しました。
- ・ 相談窓口一覧を掲載し、必要な相談先を探しやすくしました。
- ・ 2 次元コードを掲載し、関係機関や参考資料などの最新情報へアクセスできるようにしました。
- ・ 窓口対応や文書作成など、業務を振り返るチェックシートを掲載しました。
- ・ 人権コラムを更新し、身近な話題から人権について考えられる内容を充実させました。